

陸前高田発

「高田道路」報道公開



3月23日に開通する三陸沿岸道路の「高田道路」が報道陣に公開されました。今回開通するのは「通岡IC」と陸前高田市竹駒町の

「陸前高田IC」の間の4.1キロで、これで高田道路は全7.5キロがすべて開通となります。津波の浸水区域を通らない自動車専用道路の完成は、かさ上げ工事が行われている旧市街地の交通安全のほか、災害時の救急搬送や物資輸送などで大切なルートになると期待されます。(3/6 ニュースエコー)

宮古発

「田老第6トンネル」貫通

三陸沿岸道路「田老第6トンネル」が貫通しました。震災後に事業化された区間のトンネルとしては初めての貫通です。青森県八戸市



から宮城県仙台市までを結ぶ三陸沿岸道路は震災を受けて全区間のおよそ半分、148キロの新規事業化が決まり工事が急ピッチで進んでいます。このうち宮古市田老地区にある田老第6トンネルは長さ294メートルでおよそ12億5000万円をかけ去年7月から掘削が行われてきました。三陸沿岸道路は2020年度までの開通を目指しています。(3/7 ニュースエコー)

釜石発

第Ⅱ期復興公営住宅整備

釜石市では150戸を超える復興公営住宅の整備事業が着工しました。地元で工場を置く新日鉄住金の協力を得て整備のスピード化を図ります。Ⅰ期分54戸は入居が始まっていますが、Ⅱ期分も新日鉄住金の所有地に住宅を整備し、それを釜石市が買い取る仕組みです。建設工事が集中している被災地ではコンクリートの確保が困難な状況ですが、3階建て2棟をスチールハウス工法、8階建てと5階建て1棟ずつを鉄骨造とする



ことで整備のスピード化を図り、来年2月の完成を目指します。(3/7 ニュースエコー)

宮古発

「たろう観光ホテル」譲渡契約調印



震災遺構として保存することになった宮古市田老地区の「たろう観光ホテル」について、土地と建物を市の所有とする譲渡契約の調印

式が行われました。今回の譲渡契約は土地を市に売却し、建物を無償譲渡するものです。来年度にかけて保存工事が行われ2015年度の公開を目指しています。(3/8 ニュース)

山田発

東日本大震災合同追悼式

東日本大震災の発生から丸3年を迎え、各地で追悼式が行われました。山田町では県と町の合同追悼式が開かれ、600人の参列者が祈りを捧げました。会場では震災がれきを使ったアートに取り組んでいる福井県



出身の華道家、前野博紀さんによる奉納献花が披露されました。追悼式では達増知事が哀悼の意を表すとともに、遺族を代表して震災による津波で父親を亡くした山田町の内館伯夫さんが追悼の言葉を述べました。会場は震災で亡くなった犠牲者への深い祈りに包まれていました。(3/11 ニュースエコー)

大追発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はおおつちさいがいFMの道又はるかさんが、東日本大震災追悼イベント等について伝えてくれました。会場となった役場付近には、ペットボトル500本で作った灯ろうが置かれました。上から見ると「3.11」の形になります。多くの方が追悼の気持ちを込めて足を止めていたという事です。また先月末に町内のショッピングセンター内にオープンした「ぐるっとおおつちショップ」コーナーについても伝えてくれました。コーナーでは地元の人たち手作りの小物商品が販売されています。ぜひたくさんの方にきて欲しいと話していました。(3/12)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122